

令和5年度第5回新城市福祉従事者支援施策推進会議会議録

日 時 令和5年11月16日(木)
午後6時～
場 所 市役所3階 災害対策本部室3
欠席委員なし

座長あいさつ

この会議は奇数月の第3木曜日に開催している。各チームでは集まると思うが、全体で話すのは今年最後なので、それを意識しながら話をしていきたい。

1 報告事項

【魅力発信チーム】

(資料により説明)

- ・小ホールの空き時間に流すDVDは、福祉に関する情報提供的なものを考えている。

【連携推進チーム】

(資料により説明)

- ・実務経験3年未満の従事者を対象に階層別研修を企画したが、参加希望者少数のため中止となった。それが開催時間なのか、対象者なのか分からないが、次回以降の研修のあり方について協議が必要。
- ・福祉フェスの講演について、来週、講師の関係者と打ち合わせをする予定。また情報提供をする。
- ・キャンセルとなった講師には謝罪の連絡をし、キャンセル料を支払う旨の話をした。振込先を記入していただく用紙を送付し、返送を待っている状態。
- ・階層別研修のチラシは、各課の窓口や市役所入口の情報スペースに設置した。また、メールやほいっぷにて情報提供を行った。
- ・階層別研修の締め切りまでに手を打てなかったのか。もっと早く現状を知っていれば、また推進委員宛に届いていれば何か手を打てたかもしれない。なるべく情報を共有するように。
- ・合同職員研修は、福祉のカテゴリにおいて従事している人たちに向けた合同の研修という位置づけ。

【事業所支援チーム】

(資料により説明)

- ・昨年からの変更点として、推薦の段階では写真はいらない、表彰式の出席は絶対ではない、推薦書のこれまでの経歴を削除した。
- ・表彰式は欠席の場合、代理を出さなくてもいいか。⇒今後検討。
- ・昨年、インタビューが長く苦痛だった。また、代理出席した人がインタビューされ返事に困っ

た。表彰の仕方について検討が必要。

- ・募集の期間が短いと思うかもしれないが、逆算していくとこうになってしまう。
 - ・表彰の対象者は、福祉施設等で勤務する職員なのか、現場で働いている福祉職なのか。例えば裏方の事務職の方は対象になるのか。⇒持ち帰り検討する。
 - ・推薦書の推薦理由に「今後への期待」を載せる意味は。⇒推薦された方に伝えられればモチベーションアップにつながると考えている。
 - ・選考委員会のメンバーについては、事業所に所属していない委員がメンバーになる。前澤座長、石野委員、加藤委員、山本委員、八木委員、村川委員の6名にお願いしたい。
- 12/21（木）16：30～ 選考委員会を開催する。

【チーム代表者】

（資料により説明）

- ・社協としては福祉フェスと合同開催という意識はない。
- ・展示室の壁面は社協で使う予定をしている。
- ・物販の参加呼びかけ、机のセッティング等は社協で行う。
- ・閉会式に当日撮った写真をスライドショーで流す。
- ・「福祉ふれあい広場」のチラシは、社協だよりの臨時号の作成と新聞折り込みを考えている。
- ・福祉フェスで作成するチラシには社協のことは載せなくていいか。⇒「同じ会場で福祉フェスを開催してます」の一文をお互いに載せることは可能。
- ・昼食を売るような事業所がいるといい。⇒現在のところ、社協では考えていない。
- ・物販は福祉事業所に限定しない。

2 議題

（1）各チームでは検討されない事項について

- ・アンケートの内容について、年明けから推進会議で検討していく。
- ・駐車場（蒲郡信用金庫、新城小学校）については、福祉課が願う。
- ・有教館高校への協力依頼については、各チームで携わってほしい部分があれば、そのチームが事務局と相談しながらお願いに行く。
- ・有教館高校の生徒には、福祉に関わるブースに関わらせてあげたい。
- ・同時開催ならチラシを同日に出した方がいい、また、記者や議員に周知してからチラシを出すようにしたい。⇒その日程を教えて欲しい。
- ・チラシ、表彰、研修など決めなくてはいけないことが多く、次回の推進介護が1月では検討する時間が足りない。⇒12/21（木）18：00～、4-2 会議室で開催。当日は、チラシに載せる内容等、各チームで決まったことを持ち寄る。
- ・チラシは、連携推進チームで作成する。
- ・「広報ほのか」掲載（3月号 2/16発行）について、第1稿の締め切りが1/11、正午。小さなスペースで大雑把な内容でいい。12月21日には事務局は案を提示する。

(2) その他

12/9 (土) 市民福祉フォーラム開催。是非、ご参加を。

次回開催 12月21日(木) 午後6時～ 市役所4階 4-2会議室